

2018年12月17日  
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

---

## フィスコ仮想通貨取引所、Zaif サービスでのビットコイン入出金を再開 ～第三者セキュリティ機関が実施した脆弱性診断にて安全性を確認～

---

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野 仁志、以下「フィスコ」)のグループ企業である株式会社フィスコ仮想通貨取引所(本社:東京都港区、代表取締役:八木隆二、以下「FCCE」)は、FCCE が運営する仮想通貨交換所(以下「本交換所」)サービスのうち「Zaif サービス」について、2018年12月17日の17時頃より、ビットコイン(BTC)の入出金サービスを再開いたしますのでお知らせいたします。

詳細は Zaif サービスの下記 URL にも掲載しておりますのでご確認ください。  
<https://corp.zaif.jp/info/10630/>

Zaif サービスにおいては、2018年9月に発生した不正アクセス及び仮想通貨の流出事案(以下「本事案」)を受けて、本事案の事実関係および原因の究明と、お客様の資産保護を目的として、一部サービスを停止しております。

FCCE は、本事案を受けて近畿財務局より発出された業務改善命令への対応遂行を引き継ぎ、本事案の発生原因への根本対策を目的としたセキュリティ確保<sup>\*</sup>を実施いたしました。

この結果、第三者のセキュリティ専門機関が実施した脆弱性診断により、安全性が確認されております。

※(1)システムの堅牢性強化

システムを構成するサーバー、ネットワーク、アプリケーション、クライアントそれぞれのセキュリティを見直し強化いたしました。

(2)不正アクセス検知機能の向上

万一、不正アクセス等の事象が発生した場合でも速やかに検知できるよう、監視システムおよび不正検知の仕組みを導入いたしました。

(3)各種証跡の確保および調査機能の拡充

不正事象の原因となったシステムの脆弱性ポイントを調査可能とするため、ログ情報などの各種証跡を改竄できない状態で管理・保存いたします。

上記を踏まえて、9月より停止しておりました、ビットコイン(BTC)の入出金について、12月17日(月)17時ごろより再開いたしました。長らくご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

今後もフィスコグループでは上場企業として有している内部管理体制構築の知識や経験を活かして、更なる組織的、システムの安全性を確保した仮想通貨サービスの開発と提供を行って参ります。

**【株式会社フィスコの概要】**

会社名： 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>  
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号  
設立日： 1995 年 5 月 15 日  
資本金： 1,269 百万円(2018 年 6 月 30 日現在)  
代表者： 代表取締役社長 狩野 仁志  
事業内容： 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

**【株式会社フィスコデジタルアセットグループの概要】**

会社名： 株式会社フィスコデジタルアセットグループ <http://fdag.co.jp/>  
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号  
設立日： 2017 年 10 月 4 日  
資本金： 486 百万円(2018 年 6 月 30 日現在)  
代表者： 代表取締役 八木 隆二  
事業内容 仮想通貨関連ビジネスを営む会社の株式又は持分を所有すること  
による当該会社の経営管理、グループ戦略の立案及びこれに附帯  
する業務

**【株式会社フィスコ仮想通貨取引所の概要】**

会社名： 株式会社フィスコ仮想通貨取引所 <http://corp.fcce.jp/>  
所在地： 東京都港区南青山五丁目 4 番 30 号  
設立日： 2016 年 4 月 12 日  
資本金： 387 百万円(2018 年 6 月 30 日現在)  
代表者： 代表取締役 八木 隆二  
事業内容： 仮想通貨の取引所運営、仲介、ファイナンス、仮想通貨を利用した  
金融派生商品の開発、仮想通貨の取引所運営に関するシステムの  
開発・販売およびコンサルティング、その他仮想通貨一般サービス

以上